

# 首相グループインタビュー要旨

岸田文雄首相のグループインタビューの要旨は次の通り。

## 【冒頭】

足元で新型コロナウイルスの感染は落ち着いているが、最悪を想定して感染拡大に備えなければならぬ。注意深く状況を見ながら「ワクチン・検査パッケージ」の活用など工夫をすることで対応していく。大きく傷ついた日本の経済を回復軌道にもっていききたい。

12月の頭には臨時国会を召集する方向で各党と調整を始めてもらっている。政策について国民にご理解いただけるよう、しっかりと説明し、丁寧な議論をしていく。

## 【質疑】

——基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化にどう取り組みますか。

経済を再生し、財政に

ついては考えていく。これが順番だ。今年度内に新型コロナウイルスの経済、財政への影響を検証し、目標年度を再確認すると2021年の経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）に明記している。その方針に従って再確認、必要な検証をしていく。

——成長戦略をどのように具体化していきますか。

科学技術立国、デジタル田園都市国家構想、経済安全保障が成長戦略の3つの柱だ。経済安保は台湾積体回路製造（TSMC）が話題になっている。米国の半導体メーカーの誘致など、これから民間において様々な可能性を広げていく取り組みが大事だ。

——憲法改正について自民党が掲げる4項目のうち、どれを優先的に考



インタビューに答える首相（19日、首相官邸）

えていますか。

4項目とも極めて現代的な、現代社会に必要な改正だ。ただ、結果として一部が国会の議論の中で進むとしたら、4項目同時ということにこだわ

るものではない。——来年3月に開催される核兵器禁止条約の第1回締約国会議にオプザーバー参加しますか。核軍縮に向けバイデン米大統領にどのよう働きかけますか。

訪米が実現すれば、バイデン氏とこの問題についてもしっかり意思疎通を図るところから始めていく。米国との関係をつくるのが最優先だ。その

上で非核兵器国、あるいは核兵器禁止条約とどう向き合うのか考えていくのが順番だ。

——ワクチンの3回目接種について、2回目から6カ月の間隔が望ましいという医学的意見もあります。

世界水準から8カ月は妥当ではないか。個人的な事情で8カ月に満たない方でも接種する必要が生じるのはあり得る。だから例外的に6カ月以上ということも考え方として示した。基本的には8カ月ということを取り組みを進めていきたい。

——22年2月の北京冬季五輪に政府代表団を派

遣する基準についてどう考えますか。

色々なことも考えながら総合的に判断する。今の段階では何も決まっていない。日本の国益なども考えながら判断していく。

——韓国との関係改善を図る考えはありますか。

韓国との関係を安定させるのは大事だ。一方で様々なやりとりの中で国際的な条約、約束はしっかり守られるべきだ。韓国側から前向きな対応を期待したい。

——来年の参院選で憲法改正を争点に掲げますか。

従来から自民党は衆院選、参院選の公約の重点項目の1つに憲法を加えている。こうしたスタンスは変わらない。国会の議論の側面支援と国民世論の喚起、この2つが新しい本部（自民党の憲法改正実現本部）の大変重要な役割になる。